

嘉麻市国際交流推進について

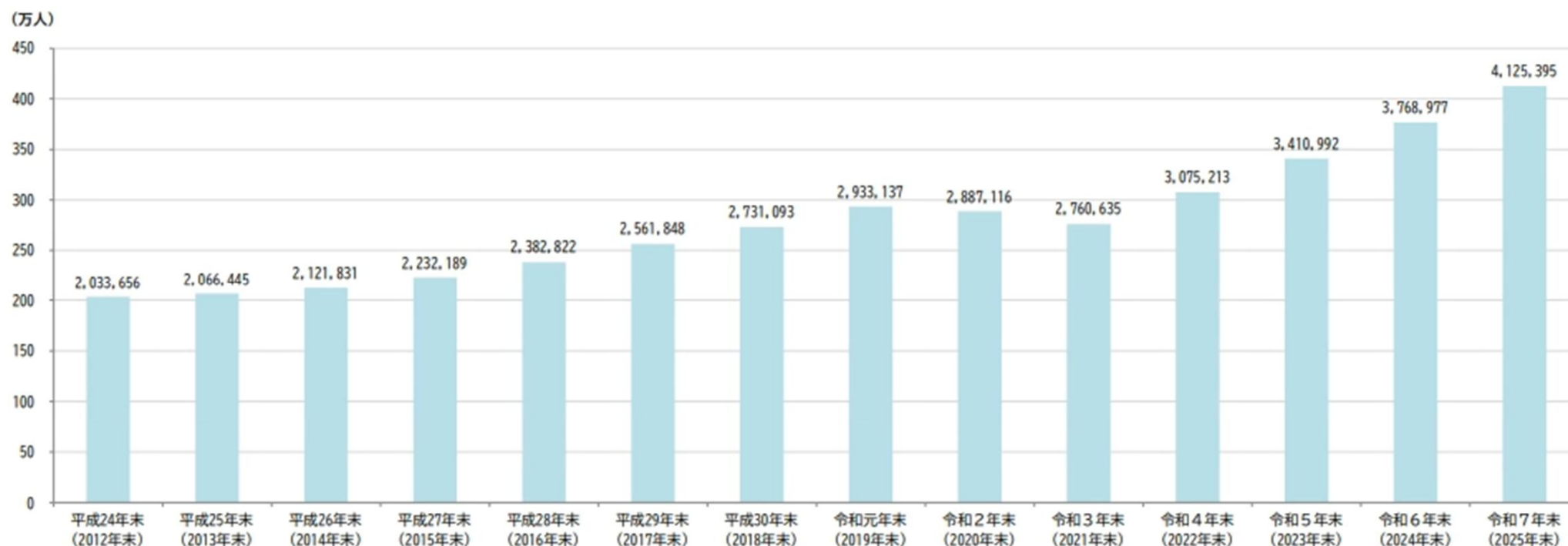
令和8年8月

嘉麻市国際交流推進本部
(総合政策課取扱)

1 国際化の現状

在留外国人は日本全体で増加傾向にあり、令和7年末時点での在留外国人数は412万5,395人（うち男性211万599人、女性201万4,735人、その他61人）に達しています。 ※前年末比35万6,418人、9.5%増

（1）在留外国人数の推移



※出入国在留管理庁HPより抜粋

(2) 国籍・地域別ベスト10

在留カード及び特別永住者証明書上に表記された国籍・地域の数値は、196（無国籍を除く。）でした。上位10か国・地域では、韓国、ブラジルを除き、いずれも前年末に比べ増加しました。また、令和6年末時点で第12位であったスリランカが第9位となりました。

国籍・地域別総数			
国籍・地域	在留外国人数	国籍・地域	在留外国人数
(1)中国	930,428人（+57,142人）	(6) インドネシア	266,069人（+66,245人）
(2)ベトナム	681,100人（+46,739人）	(7) ブラジル	210,014人（－1,893人）
(3)韓国	407,341人（－1,897人）	(8) ミャンマー	182,567人（+47,993人）
(4)フィリピン	356,579人（+15,061人）	(9) スリランカ	79,128人（+15,656人）
(5)ネパール	300,992人（+67,949人）	(10) 台湾	73,256人（+3,109人）

※出入国在留管理庁HPより抜粋（令和7年末時点）

2 市内の在留外国人の概況

(1) 在留外国人の推移

嘉麻市においては、本市全体の人口が減少傾向にある一方、外国人人口は年々増加しています。

嘉麻市の全人口				うち外国人数			外国人割合
時点	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
令和4年6月末	16,777 人	19,072 人	35,849 人	128 人	182 人	310 人	0.865%
令和5年6月末	16,501 人	18,687 人	35,188 人	141 人	182 人	323 人	0.918%
令和6年6月末	16,146 人	18,293 人	34,439 人	164 人	206 人	370 人	1.074%
令和7年6月末	15,816 人	17,868 人	33,684 人	195 人	214 人	409 人	1.214%
令和8年6月末	15,493 人	17,407 人	32,900 人	246 人	245 人	491 人	1.492%

※指定区別人口調べ より

(2) 国籍・地域別ベスト10

住基上の国籍の数は、22でした。

国籍・地域別総数			
国籍・地域	在留外国人数	国籍・地域	在留外国人数
(1)韓国	91人	(6)パキスタン	31人
(2)ベトナム	91人	(7)ミャンマー	20人
(3)インドネシア	87人	(8)カンボジア	13人
(4)フィリピン	60人	(9)ネパール	12人
(5)中国	50人	(10) 朝鮮	10人

※令和8年6月22日現在 住民基本台帳

(3) 嘉麻市の在留外国人の在住目的

在留資格	令和8年7月末	
経営・管理	10	人
技術・人文知識・国際業務	38	人
企業内転勤	5	人
技能	1	人
特定技能1号	65	人
技能実習1号口	46	人
技能実習2号口	97	人
技能実習3号口	13	人
留学	0	人
家族滞在	34	人
特定活動	7	人
永住者	53	人
日本人の配偶者等	6	人
定住者	17	人
特別永住者	97	人
合計	489	人
合計の内、仕事の関係で在留資格を有している人数	275	人

※令和8年8月1日現在 住民基本台帳

(参考)

在留資格	令和2年6月末		令和4年6月末		令和6年6月末	
経営・管理	1	人	4	人	6	人
技術・人文知識・国際業務	10	人	11	人	15	人
企業内転勤	0	人	0	人	5	人
技能	2	人	2	人	1	人
特定技能1号	0	人	4	人	38	人
技能実習1号口	34	人	25	人	46	人
技能実習2号口	89	人	44	人	37	人
技能実習3号口	12	人	28	人	20	人
留学	0	人	1	人	0	人
家族滞在	2	人	4	人	15	人
特定活動	3	人	16	人	1	人
永住者	50	人	51	人	49	人
日本人の配偶者等	7	人	8	人	7	人
定住者	6	人	7	人	19	人
特別永住者	119	人	107	人	104	人
合計	335	人	312	人	363	人
合計の内、仕事の関係で在留資格を有している人数	148	人	118	人	168	人

※出入国在留管理庁 在留外国人統計より

3. 国際交流推進に関する課題

(1) ニーズの把握、分析

嘉麻市に居住している外国人が、実際にどういった対応を求めているのか。
また、外国人が居住する地域に住む嘉麻市民の国際交流に関するニーズについても現状把握や分析が必要。

(2) 言語、文化等の課題整理

情報発信手段が確立していない。(嘉麻市ＨＰ等、多言語対応ができていない。)
やさしい日本語の導入や嘉麻市ＨＰの多言語対応、市の広報物への記載内容、方法等についても検討が必要。

(3) 人口減少への対応

本市においては人口減少傾向が続いており、将来的には労働力不足や事業所・店舗の閉鎖によるさらなる人口減少が懸念され、地域の持続可能性が課題となっている。こうした状況に対応するためには、労働力確保の方策として外国人材の受け入れや、インバウンド観光の推進が重要であり、同時に、国際交流を通じて多様な文化や価値観を尊重し合い、外国人住民と地域住民が共に暮らしやすい環境を整えることが、持続可能な地域づくりに不可欠。

4. 国際交流に関する取組

(1) 日本語教室の開催

生涯学習課にて、年16回程度開催（平成29年より毎年実施 ※コロナ期間は除く）

参加人数：令和2年度 13人、令和3年度 0人（コロナで中止）、令和4年度 5人、
令和5年度 3人、令和6年度 4人、令和7年度 7人、令和8年度 4人

※主に市内企業勤務の技能実習生が参加

(2) 嘉麻市HPへの情報掲載（総合政策課にて発信）

福岡県や一般財団法人自治体国際化協会等より情報提供のあったものを随時発信

(3) 特定技能所属機関による協力確認書の受領（法改正により令和7年4月1日より実施）

特定技能外国人の受入れに当たり、当該外国人が活動する事業所の所在地及び住居地が属する地方公共団体から、共生施策に対する協力を求められた場合には、当該要請に応じ、必要な協力をする旨の「協力確認書」を市区町村に対し、提出するもの。

本市においては、令和8年8月19日時点で21事業所より協力確認書を受領。

※共生施策に対する協力（例）

- ・ 条例等の法的根拠があるもの
- ・ アンケート調査、ヒアリング等への協力
- ・ 各種情報（各種行政サービス、交通・ゴミ出しのルール、医療・公衆衛生や防災訓練・災害対応等に関する案内、地域イベント、日本語教室等の開催案内等）の周知等

(4) 嘉麻市外国人総合相談窓口設置

R7年11月より「嘉麻市外国人総合相談窓口」を設置

○開催日

毎月第3火曜日 13:00～17:00

※予約制（相談日の7日前まで）

○開催場所

本庁舎3階 3A会議室

○予約方法

メール、電話、窓口、ロゴフォーム

○周知方法

- ・公式LINE、広報嘉麻、嘉麻市HP
- ・特定技能所属機関による協力確認書提出事業所への周知
- ・嘉麻市国際化連絡協議会会員へチラシを配布
- ・福岡県国際交流センターへのチラシ周知（配布）協力依頼

れいわ
令和7年11月より
か ま し がいこくじんそうごうそうだんまどぐち かいせつ
「嘉麻市外国人総合相談窓口」を開設します！

か ま し す がいこくじん かた
●嘉麻市に住む外国人の方
かいこくじん かた かた ち い き きょじょう
●外国人の方がお住まいの地域に居住
し ゐ ん かた
している市民の方
がいこくじん かた しゅうろう きぎょう かた
●外国人の方が就労されている企業の方



しゅうろう ろうどう じゅうたく せいかつ こま
就労・労働・住宅など生活における困りごとや、わからないことを相談できます。
かね
お金はかかりません。

そうだんないよう けん
※相談内容により、県の「FUKUOKA IS OPEN センター」と一緒に対応します。

●相談できる日 毎月第3火曜日

そうだん よやく ひつよう よやく そうだん ひ にちまえ ねが
※相談するときは予約が必要です。予約は、相談日の7日前までをお願いします。
でんわ まどぐち うけつ
(メール・電話・窓口・webフォームで受け付けています。)

●相談できるじかん
13:00～17:00

●相談できるところ
か ま し やくしよ ほんちようしや かい かいましつ
嘉麻市役所 本庁舎3階 3A会議室

●お問い合わせ先
か ま し やくしよ そうごうせいさくか きかくちようせいかり
嘉麻市役所 総合政策課 企画調整係
☎0948-42-7401
✉ kikaku@city.kama.lg.jp

きがる そうだん
お気軽に相談してください！



↑このQRコードから
申し込みできます。

周知チラシ（参考）

○経過報告

11月18日（火）に初開設し、受付件数は以下のとおり

令和7年11月18日（火） 0件（予約・当日ともに）

令和7年12月16日（火） 0件（予約・当日ともに）

令和8年 1月20日（火） 0件（予約・当日ともに）

令和8年 2月17日（火） 0件（予約・当日ともに）

令和8年 3月17日（火） 0件（予約・当日ともに）※3月10日（火）に1件

令和8年 4月21日（火） 0件（予約・当日ともに）

令和8年 5月19日（火） 0件（予約・当日ともに）※5月14日（木）に1件

令和8年 6月16日（火） 0件（予約・当日ともに）

令和8年 7月21日（火） 0件（予約・当日ともに）

令和8年 8月18日（火） 0件（予約・当日ともに）

○課題

予約フォームやHPでの周知の際に日本語表記（やさしい日本語）英語しか対応できていない。

※その他の言語で案内できるよう、検討していく。

また、外国人の転入時に配布するなど、周知方法も多様化させていく。

○その他

入管手続きから雇用・労働、身分関係など幅広く相談を受け付けているため、相談内容により、

FUKUOKA_IS_OPEN（福岡県国際交流センター）等と連携（オンライン）し、対応している。

(5) 嘉麻市国際交流推進本部の設置

本部長

佐伯市長

副本部長

神代副市長、伊東教育長

本部員

縄田人事秘書課長、小林総合政策課長
大村総務課長、高野環境課長
長岡人権・同和対策課長
松隈男女共同参画推進課長
堀田市民課長、松浦生涯学習課長
近藤学校教育課長、溝口防災対策課長
古賀デジタル戦略課長、原田産業振興課長
高井産業振興課参事

【事務局】総合政策課

伊藤課長補佐 藤内地域ブランド推進担当係長

■ 所掌

本部の所掌事務は、次のとおりとする

- (1) 外国人への生活支援や国際理解の推進等、多文化共生の推進に関すること。
- (2) 海外企業の誘致等の経済交流又は教育を通じた交流等、市の国際都市化の推進に関すること。
- (3) その他国際交流の推進に関すること。

令和7年度第1回嘉麻市国際交流推進本部会議

日時 令和7年7月10日（木）10時30分

議題 嘉麻市国際交流推進について

令和7年度第2回嘉麻市国際交流推進本部会議

日時 令和8年2月5日（木）10時00分

議題 嘉麻市国際交流推進について

令和8年度第1回嘉麻市国際交流推進本部会議

日時 令和8年7月15日（水）10時00分

議題 嘉麻市国際交流推進について

(6) 嘉麻市国際交流推進プロジェクトチーム

※嘉麻市国際交流推進本部委員の所属する課の職員で構成

リーダー

小林総合政策課長

副リーダー

石坂学校教育課長補佐

チームメンバー

原人事秘書課課長補佐、矢野生涯学習課課長補佐、
松岡人権・同和対策課課長補佐、
笹栗男女共同参画推進課課長補佐、
松岡総務係長、坂本市民係長、
野見山防災係長、犬丸廃棄物処理係長、
尾籠企業誘致係長、和田主査（中央公民館係）、
立石主任（デジタル戦略係）
吉田主任（シティープロモーション係）

【事務局】総合政策課

伊藤課長補佐 藤内地域ブランド推進係長

■ 所掌

本部の所掌事務は、次のとおりとする

・プロジェクトチームは、嘉麻市国際交流推進本部（以下「本部」という。）から指示のあった事項を推進する。

・令和7年度 嘉麻市国際交流推進プロジェクトチーム会議 回

日時：令和7年度第1回 令和7年 9月12日（金）15時00分～

令和7年度第2回 令和7年11月25日（火）10時00分～

令和7年度第3回 令和7年12月25日（木）10時00分～

令和7年度第4回 令和8年 3月11日（木）15時00分～

令和8年度第1回 令和8年 5月 1日（金）15時00分～

令和8年度第2回 令和8年 6月30日（火）14時00分～

議題：嘉麻市国際交流推進について

今後の国際交流推進における取組について

窓口配布用チラシ作成要領

多文化共生推進に関するアンケート

日本語教室の拡大等

など

(7) その他

○令和8年1月22日（木）及び令和8年8月10日（月）に、福岡県国際交流センターの「やさしい日本語研修講師派遣事業」を活用し、国際交流本部会議委員、国際交流プロジェクトチームメンバー、研修への参加を希望する職員を対象に「やさしい日本語研修」を開催。

「学校法人福岡成蹊学園 福岡外語専門学校」より講師の方をお招きし、やさしい日本語について、話す時や書く時の基礎やコツ、情報発信のポイントについてご講義いただいた。



○全国市町村国際文化研修所「多文化共生の地域づくりコース」参加

令和7年度 国際文化研修「第2回多文化共生の地域づくりコース」時間割

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
1/26	月	11:00-受付 12:30-開講・ 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【講義】 地域における 多文化共生施策の 更なる推進に向けて 総務省自治行政局 参事官補佐 原 志津子	【講義】 多文化共生施策の現状と課題 一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村 太郎	【演習】 (17:05- 17:45) 演習導入 (オンライン) ※1	18:00- 交流会	
1/27	火	【事例紹介】 市町村における 多文化共生施策 湖南省総務部市民生活局 人権擁護課 主幹 甲斐 泰清	【講義】 災害時対応 明星大学人文学部 准教授 菊池 智佳	【講義】 多様な言語的文化的背景をもつ子どもたちの実態 と学校教育・地域支援 東京学芸大学教育学部 教授 齋藤 ひろみ	【演習】 講義ふりかえり・討議	【課外学習】	
1/28	水	【講義】 (9:00- 9:20) 導入講義 ※1	【事例紹介】 生活相談 東村山市市民相談・交流 課 多文化共生相談員 杉田 理恵 ※2	【講義】 地域における 日本語学習支援 鳥取大学教育支援・国際 交流推進機構国際交流セ ンター 教授 御館 久里恵 ※2	【事例紹介】 高齢者の現状・課題 特定非営利活動法人神戸 定住外国人支援センター ゼネラルマネージャー フツデルゲル ※2	【演習】 講義ふりかえり・討議 京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子	【課外学習】
1/29	木	【講義】 医療・母子保健 長崎県立大学 名誉教授 李 節子 ※2	【演習】 講義ふりかえり・討議・発表資料作成 京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子	【演習】 講義ふりかえり・討議	【課外学習】		
1/30	金	【演習】 発表・講評・全体ふりかえり 京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子	14:10-14:40 研修アンケート記入、閉講				

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

※1 京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子

※2 ファシリテーター：京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子

(令和8年1月26日現在)

名札の色：オレンジ色 (担当：小川、丸山)



○令和8年1月26日(月)～1月30日(金)に全国市町村国際文化研修所(滋賀県)で開催された「多文化共生の地域づくりコース」へ総合政策課職員が参加。

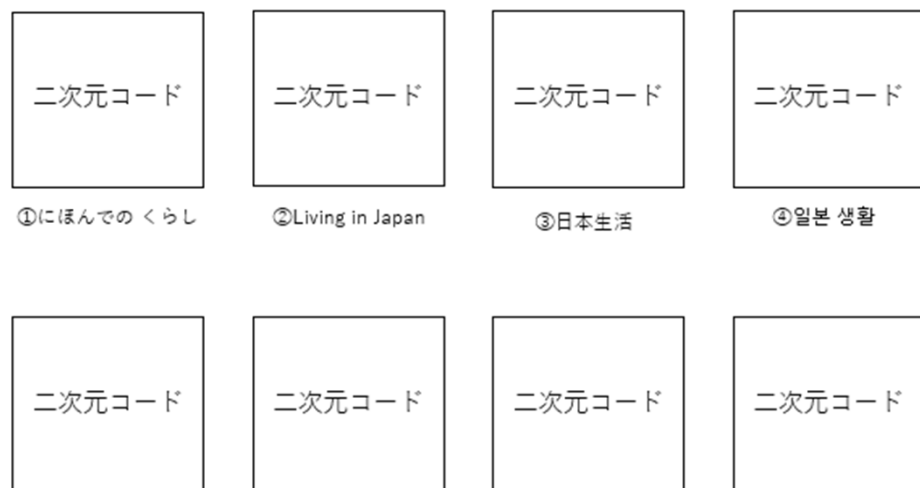
5. 国際交流に関する今後の取り組み

(1)外国人等へ向けた情報発信強化（窓口やHP、チラシ、各種SNSなど）

→やさしい日本語の使用や英語に翻訳した文章を掲載するなど、

日本人だけでなく、外国人へも伝わる情報発信の仕組みづくり

●窓口配布用チラシイメージ



- ①窓口配布用チラシは1枚
- ②チラシの母国語二次元コードからHPへ
- ③②でのアクセス先で知りたい情報へ
- ④知りたい情報は多言語化対応

●アクセス先のHPイメージ



(2) 嘉麻市多文化共生推進に関するアンケート実施について

アンケートの 目的	嘉麻市に居住もしくは市内の事業所に勤務している外国人及び関係者が、実際にどういった対応を求めているのか。 現状把握や分析、ニーズを把握することを目的とする。 ➡多文化共生推進計画（仮）に反映
アンケートの 調査対象	市内に在住、在勤、在学する外国人市民、その他関係者 ※協力確認書提出事業者、嘉麻市国際化連絡協議会会員中心
アンケート方法	ロゴフォームを使用した電子アンケート ※希望する事業所には紙媒体でのアンケートも実施
実施期間	令和8年9～10月予定

アンケート内容（案）

○アンケートフォーム（□ゴフォーム）



外国人住民対象アンケート
英語（インターネット用）



外国人住民対象アンケート
やさしい日本語（インター
ネット用）



外国人関係者アンケート
（インターネット用）

協力確認書へのアンケート添付

○現行の様式

_____ 市・区・町・村長 殿

協 力 確 認 書

特定技能外国人の受入れに当たり、当該外国人が活動する事業所の所在地及び住居地が属する地方公共団体から、共生社会の実現のために実施する施策に対する協力を要請されたときは、当該要請に応じ、必要な協力をいたします。

年 月 日

①特定技能所属機関名
②事業所の所在地
③担当者連絡先（部署・担当者名）
④電話番号
⑤メールアドレス
⑥派遣先機関名
⑦派遣先事業所の所在地

※ 直接雇用の場合：①～⑤を記載してください。
②は特定技能外国人が活動している事業所所在地を記載してください。

※ 派遣形態の場合：①～⑦を記載してください。
②は協力要請の連絡先となる、特定技能所属機関の事業所所在地を記載してください。I



現行の様式にそれぞれのアンケートQRを掲載し、任意で回答を求める



外国人住民対象アンケート



外国人関係者アンケート

(3) 日本語教室の拡大検討 概要

教室名	日本語教室
場所(施設名)	山田生涯学習館
参加費用 ※学習者が負担する費用	無料
曜日・時間等	4/8.22 5/13.27 6/10.24 7/8.22 8/12.26 9/9.30 10/14.28 11/11.25 12/9.23 1/13.27 2/10.24 3/10.24
運営主体	市区町村(直営)
1回当たりの平均参加人数	1～5人
1回当たりの参加上限数	16～20人

運営資金の確保方法	市区町村が負担(補助金、委託料、報償費、会場費等)
主な参加者の在留資格	技能実習生
主な参加者の出身国・地域	ベトナム、中国、インドネシア
教室の講師・ボランティアの人数	1人
開催方法	オンライン(講師)
課題	参加者不足(今年度1回目 0人 2回目以降3~4人)
今後の展開	事業所、自宅で受講 市民ボランティア(外国人の方と地域の方をつないでいく)育成

○日本語教室立上げ支援事業の利用

福岡県の在住外国人支援等の取組について（一部抜粋）

1-2. 在住外国人への日本語教育支援（日本語教室等）

日本語教室立ち上げ支援（日本語教育専門家派遣）

日本語教育の専門家を市町村に派遣

- ・市町村または国際化協会の運営する日本語教室の課題への助言。
- ・日本語教室を新たに立ち上げる自治体への助言。



日本語教育専門家

助言



地域の日本語教室



※教室の運営
内容改善等

NEW !

- ・外国籍の配偶者や子どもなど**日本語が全く分からない「日本語ゼロ初級者」**向けの日本語教室の開設を希望する市町村に対する支援。



孤立防止



交流・生活相談の新たな拠点

<市町村での活用>

日本語教室の開設や運営改善、ゼロ初級者の受入れを検討されている場合は、県へ相談

日本語教室コーディネーター／ボランティア育成

地域の日本語教室の運営を担う人材の育成

- ・日本語教室の運営体制や学習者支援等コーディネーターの役割等を学ぶセミナーを開催。
- ・外国人とのコミュニケーション方法や、やさしい日本語などについて学ぶ研修を実施。

<市町村での活用>

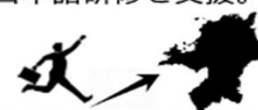
市町村等が運営する日本語教室に、育成したコーディネーターやボランティアが参画可能



セミナー・研修の様子

やさしい日本語講師派遣

- ・市町村が主催するやさしい日本語研修を支援。（講師派遣、広報協力等）



<市町村での活用>

市町村がやさしい日本語の研修を企画する際、県国際交流センターへ講師派遣や広報協力について相談

(4) 多文化共生・国際交流イベントの実施

■目的

- ・住民と外国人住民が交流し、相互理解を深める。

■開催概要

- ・時期:令和9年2月(予定)
- ・対象:市民・市内在住外国人等

■内容(案)

- ・世界のお菓子・飲み物で交流
- ・各国文化紹介・交流
- ・やさしい日本語・外国語体験 等

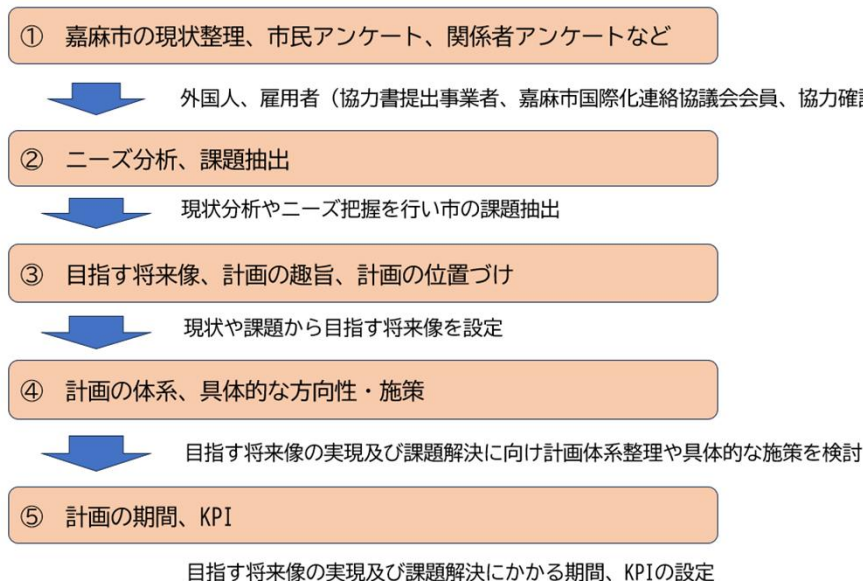
■期待される効果

- ・相互理解の促進
- ・地域とのつながりづくり
- ・多文化共生の推進 等

(5)多文化共生推進計画（仮称）の策定

→中長期的な観点から人口減少の克服及び地方創生に関する取り組みを進めて行く中で、本市における国際化、グローバル化を推進し、多様な文化を理解し受け入れることができる市民意識の醸成と、人口減少社会に対応した持続可能なまちづくりを目指し、本市における国際政策の基本的な考え方や、様々な分野にわたる施策の方向性を示すために多文化共生推進計画（仮称）を策定する。

○計画策定の流れ



（参考）

嘉麻市国際化連絡協議会会員 14事業者(R7.11月時点)
協力確認書提出事業所 21事業者(R8.8月時点)

6. 取組スケジュール

内容	令和8年度									令和9年度						
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
第3次総合計画策定	基本構想、基本計画作成															
多文化共生推進計画（仮称）策定	①市民アンケート、関係者アンケートなど ②ニーズ分析、課題抽出 ③目指す将来像、計画の趣旨、計画の位置づけ				④計画の体系、具体的な方向性・施策 ⑤計画の期間、KPI				・全体整理 ・パブリックコメント ・議会報告				計画完成			
推進本部会議の開催	第1回				第2回					年間2回程度						
嘉麻市国際交流推進 プロジェクトチーム会議の開催			第3回				第4回			年間4回程度						
・外国人へ向けた情報発信 ・日本語教室拡大検討 ・多文化共生・国際交流イベント	外国人へ向けた情報発信検討・実施 日本語教室拡大検討							イベント実施								